

第 1 7 回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 3 年 1 1 月 2 6 日 (火曜)		午前 9 時 0 0 分 開会
	休憩 9:03-12:00 13:00-15:15 15:24-25		
	午後 3 時 5 2 分 閉会		
	休憩時間：5 時間 1 3 分		会議時間：0 時間 3 9 分
会議場所	役場 3 階 委員会室		
出席委員 氏 名	委員長	渡辺洋一郎	委員 堀切 忠
	副委員長	黒田 栄継	委員 橋本 和仁
	委員	常通 直人	
	委員	柴田 正博	
	委員	正村紀美子	議長 早苗 豊
説明員	子育て支援課長	杉山ゆかり	
	同児童係長	山田 陽子	
	同児童係主事	柴田 啓希	
参考人			
欠席委員 氏 名	委員 西尾 一則		
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係主査 上田瑞紀	
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会 委員長が開会を告げた後、西尾委員の欠席の旨を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件 (1) 調査事項 ア 厚生文教常任委員会所管施設調査について 資料 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長：施設調査の旨を告げ、休憩とする。 ・委員長：休憩を取り消し、委員会を再開する。お諮りする。調査事項として「令和 3 年度子育て世帯への臨時特別給付金について」を当日追加したい。異議ないか？ ・(異議なし) ・委員長：ここで休憩とする。 			

- ・委員長：休憩を取り消し、委員会を再開する。

「令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金について」 追加資料2

- ・委員長：担当課の説明を求める。
 - ・子育て支援課長：事業の背景を説明。当日追加資料2を、担当係長から説明する旨告げる。
 - ・児童係長：当日追加資料2（事業の「目的」「実施主体と経費負担」「基準日」「対象者」「給付額」「給付の方法」「支給時期」）についての説明。
 - ・委員長：意見・質疑はないか？
 - ・正村委員：年内支給として振込日の予定は？
 - ・課長：プッシュ型の場合は、12月下旬に支給を予定している。
 - ・委員長：他にないか？
 - ・（意見・質疑なし）
 - ・委員長：以上で当日追加調査事項を終了する。
-
- ・委員長：調査事項「ア（施設調査）」について、振り返り（感想等）を行う。障がい者用生活体験住宅についていかがか？
 - ・常通委員：今年度の利用頻度が低いことが分かった。PR等の工夫を要すると感じた。
 - ・柴田委員：体験型住宅は有効な施設。通常はグループホーム等にいきなり入居である。自立するきっかけとなる事業として障がい者の選択肢を広げる意味で有効と感じた。
 - ・橋本委員：実際に体験型住宅での居住を経て、自立（アパート暮らしに移行）している方も存在するとのことで、意義ある機能と感じた。
-
- ・委員長：次に放課後等デイサービス事業（以下「放課後デイ」という。）実施予定地について、いかがか？
 - ・黒田委員：体験型住宅と隣接しているため、実際に二つの機能が動き始めたときに生じる課題も想定しつつ、調査を継続していきたい。
 - ・常通委員：放課後デイが実際に運用開始した後に、現地調査し実態を確認することの必要性を感じた。
 - ・（意見・質疑なし）
 - ・委員長：引き続き、適宜調査を行うこととする。
-
- ・委員長：続いて、集団研修施設「かつこう」についていかがか？
 - ・橋本委員：経費が過剰にかかっていることを実感した。大乃国の史料の移転先も注視していきたい。
 - ・黒田委員：まだまだ十分使える施設であることを実感した。今後、普通財産に移管して処分（売却）するのか否かを明確にしておくべきと感じた。現状のままにしておいて、自然に老朽化することを見過ごすことなく、行政の方向性を明確にすべきと感じる。

- ・堀切委員：新冠町での類似施設ではリニューアル活用もある。オークション処分もあるので、解体以外の有効手法の検討を期待する。
- ・常通委員：見栄えは使用可能とを感じるが、水回り等も考えると若干不安は感じる。ただ、町として、現在の用途を廃止した後のことを同時に整理しておくことは不可欠と考える。大乃国の史料については、後世に引き継ぐ形で移設することを求めたいとを感じる。
- ・委員長：ご意見を踏まえて、かつ、合同委員会の説明を念頭に置いて、今後の委員会で必要に応じて調査をしていくこととしたい。いかがか？
- ・(異議なし)

- ・委員長：続いて、ふるさと歴史館「ねんりん」についていかがか？
- ・橋本委員：初めて入った。歴史的な貴重な史料が多く勉強になった。
- ・常通委員：貴重な歴史の史料を確認できた。当該施設がどのように、どのような方に利用していただいているのかなど、確認して持続させていくべき施設と感じた。
- ・黒田委員：展示物と建物規模が一致しているのか？今後、どのように史料を増やすのか？将来に向けて、あの場所で良いか？あの展示で良いか？など、併せて「かつこう」の用途や役割の確認など、そういった視点での調査を要すると感じた。
- ・委員長：発言された各委員の意見を踏まえて、今後、調査とするか、または学習のような研究なのを含めて、委員会として取り組んでいくことにしたい。

- ・委員長：続いて、公立芽室病院についていかがか？
- ・堀切委員：PCR 検査機器については、どんどん新しくなっていき、使われなくなったものもあり、譲渡等有効活用の方法がないか気になった。
- ・常通委員：院内を直に確認し、これまでの間の医療体制の苦悩や工夫を実感した。
- ・委員長：試行錯誤しながら病院を運営していたことが理解できた。今後も継続して調査を重ねていく。

- ・委員長：次に当日追加調査事項について、自由討議はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・委員長：正副一任としたい。異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：異議なしと認め、決定する。

(2) その他

- ・委員長：「その他」で委員からないか？

- ・委員長：議長から？
- ・委員長：事務局から？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和3年11月26日

厚生文教常任委員会委員長 渡辺 洋一郎